

地域 福島県 双葉町 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 2 - 20 - 006

事業名

ダチョウ卵の特性を活かした新食感スイーツブランド構築  
並びに需要の拡大事業

連携体

中小企業者： まがら洋菓子研究所(有)(菓子小売業)

農林漁業者： (株)シュトラウス(その他の畜産業)

連携参加者：

サポート機関等

福島県中小企業団体中央会、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

まがら洋菓子研究所(有)は、地元の異業種グループの活動の中で、ダチョウ卵の持つ優れた起泡性を活かしてシフォンケーキ作りを試験的に行った。その結果、非常に食感の良いケーキができあがり、試験販売してみたところ、消費者からの評価が高く、当事業に本格的に取り組もうと両社の連携に至った。



ダチョウの飼育状況

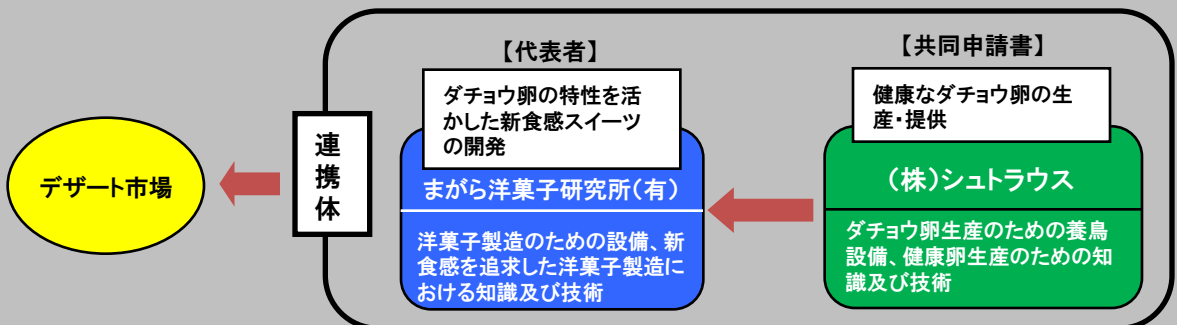
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

洋菓子には卵の起泡性を活用したものが多くあるが、ダチョウ卵は鶏卵に比べ、その起泡性のキメの細やかさと持続性に優れており、これまでにない「ふっくらとした食感」や「なめらかな舌触り」を表現できる。この特性を活かしたシフォンケーキ等の洋菓子は、成長を続けるデザート分野においても独自性が高く、「新食感の驚き」を消費者に提供でき、デザート市場において新たなジャンルの確立を目指す。



洋菓子販売

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆洋菓子原料として優れた素材によるデザート市場における新たなジャンルの確立
- ◆有効活用されてこなかった食材としてのダチョウ卵の消費拡大

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地): まがら洋菓子研究所有限会社  
(福島県双葉郡双葉町大字新山字下条33)
- ◆電話番号: 0246-26-733
- ◆FAX番号: 0246-26-7331
- ◆ホームページ: <http://www.le-grand-bleu.jp/>

地域 福島県 川俣町 認定日 平成20年9月19日 通巻番号 2 - 20 - 007

事業名

「川俣シャモ」のおいしさを最高に引き出した  
新しい食味の焼き加工品の開発

連携体

中小企業者：(株)川俣町農業振興公社(食肉製品製造業)

農林漁業者：(有)川俣シャモファーム(養鶏業)

連携参加者：

サポート機関等

福島県中小企業団体中央会、地域活性化支援事務局

事業概要(連携の経緯、商品等の新規性・市場性・競争力)

◆連携の経緯

(株)川俣町農業振興公社は、川俣シャモの精肉、燻製、地鶏カレー等の加工品の製造販売を行っている唯一の企業である。(有)川俣シャモファームは、川俣シャモの孵化・育雛と成鶏までの飼育を唯一行っており、「川俣シャモ」の名称は当社のみが専有する名称である。

消費者に対する食の安心・安全が強く求められる中で、地鶏の希少性価値だけにとらわれず、採卵から加工品出荷まで一貫して管理することが両事業者間で可能であると考え、加工業者、飼育農家一体となり川俣シャモの特徴を活かした商品開発を行うこととなった。



シャモの飼育状況

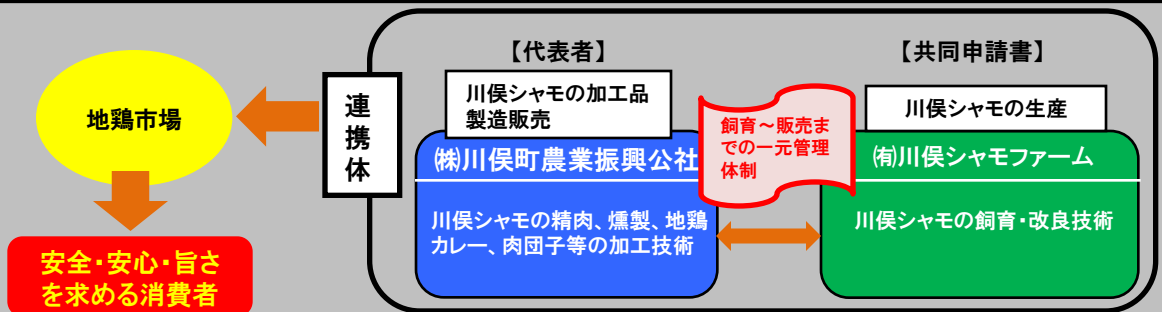
◆新商品又は新役務の内容とその市場性・競争力

飼育～販売まで一元管理された川俣シャモを、地元産飼料米・飼料原料の研究により肉質の改良を行うとともに、地元産の厳選された醤油・塩・野菜等を組み合わせた加工品専用の無添加のタレを開発し、新しい食味で安全・安心が確立された「川俣シャモの焼き加工品」を開発・販売する。また、ブランドイメージの向上を図り、販路拡大に取り組む。



シャモ丸焼き【イメージ】

連携体の構成と活用する経営資源



期待される地域経済への効果等

- ◆川俣シャモのブランドイメージ向上
- ◆福島県ハイテクプラザ等地元の機関と連携し、地域活性化に貢献

代表企業等の連絡先

- ◆代表者(所在地):川俣町農業振興公社  
(福島県伊達郡川俣町小綱木字泡吹地8)
- ◆電話番号:024-566-5860
- ◆FAX番号:024-566-5083
- ◆ホームページ:http://www.kawamata-shamo.co.jp/